

事務事業名		特別定額給付金給付事業		所属部	市民環境部	所属課	市民生活課
総合計画体系	政策名	政策外		所属G	生活グループ	課長名	宇田川 康司
	施策名	施策外		担当者名	後藤 和子	電話番号	0854-40-1031
	目的:対象	意図				(内線)	2123
	基本事業名	その他		予算科目	会計 款 大事業 大事業 0:11002 業名 項 目 中事業 中事業 0:596 業名	特別定額給付金給付事業 特別定額給付金給付事業 (人件費含む)	

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ )
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
●「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」(令和2年4月20日閣議決定)の趣旨を踏まえ、迅速かつ的確に家計への支援を行うため特別定額給付金を給付する。
●給付対象者: 令和2年4月27日において市の住民基本台帳に記録されている者
●受給権者: その者の属する世帯の世帯主
●給付額: 給付対象者1人につき10万円
●申請期間: 令和2年5月11日~8月10日

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	R2年度実績(R2年度に行った主な活動) 特別定額給付金受給権者に対し、給付対象者1人につき10万円を給付。	R3年度計画(R3年度に計画する主な活動) 計画なし				
	【申請対象者】 受給者数 13,737人 受給対象者数 37,428人					
	② 活動指標	単位	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (計画)
	ア 給付対象者(申請対象者)	人			37,428	
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (計画)
	特別定額給付金給付対象者	ア 給付対象者(申請者)	人			37,400	
		イ					
		ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (実績)	R3年度 (計画)
	特別定額給付金を受給する	ア 給付額	千円			3,740,000	
イ 申請率		%			99		
ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(2年度決算)	② コストの推移	単位	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(計画)
給付金給付額 3,740,000千円 事務費・人件費 13,079千円	事業費内訳	国庫支出金	千円		3,753,079	
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円			
		事業費計(A)	千円			3,753,079
		人件費	人			29
		延べ業務時間	時間			3,240
	人件費計(B)	千円			13,634	
	トータルコスト(A)+(B)	千円			3,766,713	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
新型コロナウイルス感染症緊急経済対策により、迅速かつ的確に家計への支援を行った。	国策による経済対策のため改善は行っていない	迅速で的確な支給を求められた。

**2 事後評価【SEE】**

<b>A</b>	<b>目的 妥当性</b>	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている    *余地がある場合⇒	理由	見直し余地があると理由
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である    *余地がある場合⇒			
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である    *余地がある場合⇒			
<b>B</b>	<b>有効性</b>	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由	全国一律の制度のため。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由	全国一律の制度のため、市の裁量はない。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？ <input type="checkbox"/> 他に手段がある    *ある場合⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる    (具体的な手段や類似事業名) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由	全国一律の制度のため。	
<b>C</b>	<b>効率性</b>	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	全国一律の制度のため。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？正職員以外や外部委託ができないか？ <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	迅速的確に支給を行うため、他部局の協力により行った。	
<b>D</b>	<b>公平性</b>	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由	全国一律の制度のため。
<b>評価 の 総 括</b>	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	申請漏れがないよう周知や勧奨を徹底した。	
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			

**3 今後の方向性【PLAN】**

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 緊急経済対策により令和2年度単年度事業として実施した。	② 改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		